

---

# 自由な猫の物語

maki

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

自由な猫の物語

### 【Nコード】

N3096Y

### 【作者名】

maki

### 【あらすじ】

ここはどこ？気付いたら知らない場所で猫として生まれ変わっていた主人公彼はどうなってしまふのだろうか？

初投稿で、仕事の合間で書いているので投稿間隔ばらばらになるかもしれませんがよかったですら読んでください。

## プロローグ（前書き）

この小説は何番煎じになるかわかりませんが東方Projectのオリ主の過去転生物です。初投稿ですので拙い文ですがよろしければ読んで下さい。なおオリ主を出す関係上原作キャラの生い立ちなどが原作の設定とかなり違ってくる場合がありますのでご注意ください。

## プロローグ

俺はどうなってしまったのだろうか？

ここはどこだ？なぜこんな格好になっている？

とりあえず、これ迄のことを思い出してみよう。

俺の名前は月詠蒼。病弱で中学に上がったあたりからずっと入院していたが間違いなく一般的な人間だった。どうして過去形かと言うと簡単に言ってしまうえば17歳の時病気が悪化して死んでしまったからだ。

そして、『あの世』と一般的に言われる場所で死神と名乗る赤い髪の女性にこれからのことについて説明を受けた。両親やよくお見舞いに来てくれていた幼馴染達に別れを言えなかったことにかんりのショックを受けたが何とか心の整理をしながら聞いていたのを覚えている。

その後、三途の川を渡る船が出るまで待っていたら・・・突然足元の空間が割れて、そこに落ちたんだ。

ここまで思い出してみても出た結論・・・わからん！結局ここはどこ

?なんで俺は猫になってるの?

## 現状確認をしよう

とりあえず冷静になろう。

死神と名乗った女性は死んだあとの行先は三途の川を渡った後に閻魔が決めると言っていた。ということはこれはイレギュラーなことで、原因はあの空間が割れたようになったことなんだろう。今の時点ではそれくらいしかわからない。だから「なぜ？」という疑問はとりあえずおいておこう。

となると残る疑問は「ここがどこか？」ということだ。俺は改めて周りを確認した。俺の居る所は柵で囲まれており、周りには今の自分と同じ位の子猫が数匹いた。おそらく自分の兄弟なのだろう。周りから様々な動物の物らしき鳴き声が聞こえることから考えると、ここはペットショップか何かなのだろう。暫くそんなことを考えていたが次第に眠くなってきた。とりあえずそれ以上の事は今のところわからなかったので眠気に逆らわず俺は眠ることにした。

それから数日後、俺は別の場所に移されていた。室内の様子からして、ここはペットショップで間違いなさそうだ。ただ、ここ数日で気付いたことがある。はじめはただ猫として生まれ変わっただけだと思っていた。だが、どうやら俺が生前に暮らしていた所とは「世界」もしくは「時代」がちがうようだ。俺が生きていた世界はこんなにも技術が発達していなかった。言うならば映画や本に出てくるような近未来という感じだ。まあ、猫の俺にはあまり関係ないけどな。

それよりも気になるのはこれからのことだ。店員の話聞いていた

所俺の買い手はもう決まっているらしい。

「八意」さんって人の家らしいが・・・まあ、どんな人かわからな  
いがせつかくの第二の人生（？）だ、自由に生きてみるか。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3096y/>

---

自由な猫の物語

2011年11月8日12時02分発行